

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度第3回行田市地域公共交通会議	
開 催 日 時	令和5年9月28日(木) 開会：10時00分 閉会：11時09分	
開 催 場 所	行田市産業文化会館2階 2A・2B会議室	
出席者(委員)氏名	横田英利(会長)、田沼健一、鈴木貴大、梁瀬高志、長島豊、明野真久、関根肇、藤田貢、小暮福三、関口正彦、中山正典(代理：梁島淳)、鏑木幹矢、青山義徳、近藤隆久(代理：神宮一雄)、岡登圭太、森原秀敏、江森裕一、上村浩代、高橋栄一※敬称略	
欠席者(委員)氏名	高鳥和子、坂井貴夫、飯塚光弘、村上晶彦、荒船慎一、田尻要 ※敬称略	
事 務 局	【交通対策課】島田課長、大澤主査、杉山主任、富田主事 【地域公共交通計画策定委託事業者】昭和株式会社(小林孝志、佐藤亜世)	
会 議 内 容	議 事 (1) 行田市地域公共交通計画骨子(修正案)について (2) 行田市地域公共交通計画(案)(第1章～第3章)について	
会 議 資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和5年度第3回行田市地域公共交通会議次第</li> <li>・ 令和5年度第3回行田市地域公共交通会議出席者名簿</li> <li>・ 行田市地域公共交通計画骨子(修正案)〔資料1-1〕</li> <li>・ 行田市地域公共交通計画骨子(修正案)新旧対照表〔資料1-2〕</li> <li>・ 行田市地域公共交通計画(案)(第1章～第3章のみ)〔資料2〕</li> <li>・ 行田市地域公共交通計画の策定スケジュール〔資料3〕</li> </ul>	
そ の 他 必 要 事 項	傍聴者1名	
議 事 録 の 定 確	確 定 年 月 日	主 宰 者 氏 名
	令和5年10月24日	横 田 英 利

発 言 者	会 議 の 経 過 （ 議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 結 論 等 ）
司 会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の会議では、会議の公開により公正かつ円滑な議事運営に支障を生じると認められる協議は含まれていないため、行田市地域公共交通会議設置要綱第6条第5項に基づき、公開とする。</li> <li>・会議録は、発言者を明記の上、要点筆記で作成し、市政情報コーナー及び市ホームページにおいて、後日公開するのでご了承いただきたい。</li> <li>・行田市地域公共交通会議設置要綱第5条第2項では、「会長は、第3条第1号に掲げる者をもって充てる」とされており、第3条第1号は、「行田市長又はその指名する者」とされている。</li> <li>・本日は、中山委員の代理として梁島様に、近藤委員の代理として神宮様にご出席いただいている。</li> <li>・高鳥委員、坂井委員、飯塚委員、村上委員、荒船委員、田尻委員については、所要により欠席との連絡をいただいている。</li> </ul>
司 会	<p><b>1. 開会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ただいまから「令和5年度第3回行田市地域公共交通会議」を開会する。</li> </ul>
会 長	<p><b>2. あいさつ</b> (会長あいさつ)</p>
司 会	<p><b>3. 議事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行田市地域公共交通会議設置要綱第6条第1号では、議長は会長とされていることから、ここからは、会長に議長をお願いする。</li> </ul>
議 長 事 務 局 明 野 委 員 事 務 局 鈴 木 委 員	<p><b>(1) 行田市地域公共交通計画骨子（修正案）について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめに「行田市地域公共交通計画骨子（修正案）について」について、事務局に説明を求める。 (資料1に基づき説明)</li> <li>・資料1-2の上から2番目、「公共交通の年間利用者数等の推移」に、「デマンドタクシーは貸切型の交通手段」と書いてあるが、通常は「貸切」という言葉でなく、「個別輸送」を使う。ここは「個別輸送」とか「個別の交通手段」とかにするのがよいと思う。</li> <li>・提案のとおり、「個別輸送」もしくは「個別の交通手段」と修正したい。</li> <li>・資料1-1の8ページ、下から2つ目に「市外からの来訪者数」とある。一般的に「市外からの来訪者」というと、観光客をイメージされるかなと思う。就業や就学の利用も多いため、「市外から（就学、就業、観光）」など、観光だけではないとわかるようにした方がよいと思う。</li> <li>・もう1点、ひっくり返してしまうようで申し訳ないが、どうしても、9ページの「みんなに愛される」、あるいは下の目標3の「みんなに親しまれる」にある、「みんな」という表現に若干無理があると思う。「みんな」となると、行田市民全て、それから行田市に来る人全てということになるので、そ</li> </ul>

発 言 者	会 議 の 経 過 （ 議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 結 論 等 ）
事 務 局	<p>れが果たして今後の労働者不足や財政の状況等もある中で、本当に実現できるものなのかと考えた。決して切り捨てるというわけではないが、なかなか、「みんな」「オール」「全部」というのは厳しいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先ほど、事務局の説明で「快適性よりも利便性が低いからもっと上げてくれ」という声が多い」とあったので、例えば目標3を「わかりやすく、みんなに親しまれる」でなく、「わかりやすく利便性の高い」などとする方が現実的なのかなと思った。</li> <li>・「みんな」について、幅広く市民の皆様をしっかりと網羅しているということイメージし、「みんな」と表現した。本日の協議で、鈴木委員から提案のあった「わかりやすく利便性の高い」とする方がよいということであれば変更したいが、皆様の意見をいただきたい。</li> <li>・課題4「市外の来訪者」とした趣旨としては、「就業や就学も含んだすべての市外からいらっしゃる方」というイメージで書いた。誤解を招くということなら「市外からの来訪者（就業・就学を含む）」などと追記させていただきたい。</li> </ul>
議 長 森 原 委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標3の「みんなに」のところを「利便性の高い」に変えるということについて、皆さん、いかがか。</li> <li>・目標2に「使いやすい」とあり、「使いやすい」と「利便性の高い」が重なるように感じた。みんなに親しまれるということで、すべてというのはなかなか実現が難しいという意見だったが、もう少し違う感じで表現できたらと思った。</li> </ul>
議 長 委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんなに」という部分が非常に包括的すぎて誤解を招くのではないかとというのが鈴木委員の趣旨だと思うが、文言を事務局に持ち帰ってもらい、次回提示するという形でいかがか。</li> </ul> <p>(異議なし)</p>
委 員 議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・続く基本方針でも「みんなに」がでてくるので、この辺、何かいい言葉があれば検討し、次回、考え方も含めて提示いただけるようお願いする。</li> </ul>
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例えば、基本方針は、「便利で愛される持続可能な地域公共交通の実現」としてはどうか。</li> </ul>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局の提案があったが、基本方針は計画すべてをこの部分で言い尽くす部分だと思うので、「みんなに」を削り、「便利で愛される持続可能な」とし、目標3は次回までに事務局が代替の言葉を考えてくるということによいか。</li> </ul>
委 員 事 務 局	<p>(異議なし)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、こののちの資料説明でも、今の部分に関わる場所は修正することを前提としてお願いしたい。</li> </ul>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他に意見がないようなので、骨子についてはこれで一旦承認いただくということにしたい。</li> </ul>
<p><b>(2) 行田市地域公共交通計画（案）（第1章～第3章）について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次に「行田市地域公共交通計画（案）（第1章～第3章）について」につい</li> </ul>	

発 言 者	会 議 の 経 過 （ 議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 結 論 等 ）
事 務 局 田 沼 委 員	<p>て事務局に説明を求める。</p> <p>(資料2に基づき説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 55 ページ以降の課題のところで、「課題2 公共交通の運行内容の適正化」とある。市内循環バスでは、他市の事例を見ても、運賃の改定などを進めている。行田市では、運賃が100円、もしくは150円ということで、ずっと据え置いていると思うが、収支状況がかなり厳しい路線もあるようなので、利用者負担の視点でも検討いただきたい。</li> <li>・ また、利用状況を見ると、平日の利用は比較的多いが、土日の利用がかなり落ち込んでいる路線もある。アンケートでは運行本数を確保してほしいということだったが、実際に土日の利用が少ないということなら、減便などにより経費を圧縮するというやり方もあるかなと思った。</li> <li>・ それから、課題として、どこに入ればよいかはあるが、運行事業者として、運転士の確保に非常に苦労している。会社としては、減便や路線廃止で対応しており、当社でも減便している路線がある。そこで、「運転士確保」について、何かしら課題の中に入れて込んでほしい。</li> </ul>
議 事 長 務 局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3点あったと思うが、事務局から説明をお願いする。</li> <li>・ まず、1点目の市内循環バスの運賃改定については、これまで何度も申し上げているとおり、この計画は地域公共交通のグランドデザインを示すような、総合的な計画だと認識しており、この計画を策定した上で、市全体の地域公共交通自体の再編を近々に行っていく必要があると考えている。その再編の検討の中で、市内循環バスをどうしていくか、運賃改定が必要なのかなどを含め、総合的に考えたい。</li> <li>・ ご指摘いただいた、収支の改善が必要だということは、市としても強く認識をしているので、その視点を踏まえ、しっかり再編していきたい。</li> <li>・ また、ご指摘のとおり、土日に利用の非常に少ない便が明確にある。運転手の確保という視点からも、土日ダイヤの導入などについて考えていくべき段階にあると考えている。</li> <li>・ 3点目の「運転手の確保」については、事務局でも認識しているが、その視点の記載が漏れていた。運転手の確保や育成に対する支援や考え方を追記したい。</li> </ul>
議 関 長 口 委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他にないか。</li> <li>・ デマンドタクシーの利便性の向上について、9月議会で、デマンドタクシーの運行期間を「午前9時から午後6時まで」に変えるという請願が出され、それは通らなかったようだが、前のアンケートにも同様の意見があったと思う。利便性の向上を考えたときに、もう少し利用できる時間を後ろへずらせるような表現をこの中に入れてほしい。</li> </ul>
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デマンドタクシーについても、先ほどの田沼委員のご指摘の際に申し上げたとおり、デマンドタクシーや市内循環バスを含め、この計画を策定し、計画に基づいて市全体の公共交通の再編を考えていきたい。その中で市内循環バスをどうするのか、デマンドタクシーをどうするのかを考えたい。</li> </ul>

発 言 者	会 議 の 経 過 （ 議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 結 論 等 ）
関 口 委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間を後ろ倒しできないか、もっと利用時間を長くできないかということについては、運転手不足の問題もあり、記載するのが適当かどうかについて、一旦持ち帰り、事務局で少し考えさせていただければと思う。</li> <li>・時間を長く運行すれば、利便性は確かに向上するが、担い手がいなければ運行ができない。運行できないことによって、総合的にサービスが低下するという可能性もあるので、どのように委員のご指摘を踏まえた内容で修正できるか考えさせていただきたい。</li> </ul>
明 野 委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人々の生活時間として、午後6時ぐらいまではいろいろ考えられるので、そのあたりを考えてほしい。</li> <li>・56ページの課題4に「市内と日常をつなげる公共交通の実現」とあり、おそらく市内である程度、色々なことをやってほしいということだと思うが、この文章が少し分かりづらい。また、市内と言っているが、後半は市外からの来訪者を伸ばすと書いてある。課題3では、市外へ通じると書いてあるので、市の外に行くのも便利だし、外から中に入るのも便利だとまとめれば大丈夫なのかなと思う。</li> <li>・また、課題5の「公共交通を将来残していく市民の意識の醸成」のところで、「市内でどんどん使ってね」という言い方にすればよいように思った。課題4を残すとしても、「市内と日常をつなげる公共交通の実現」という言葉がずっと頭に入ってこないと思った。こういうイメージだ、という部分が少しわかりにくいと思う。</li> </ul>
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・骨子でも、ここは「市内と日常をつなげる」と修正したと説明させていただいたが、元々、「空洞化」という表現だった。ご指摘の通り、課題3は中から外へ行くための視点で書いた。そして、課題4は、市の中心部として、金融機関や市役所などの機能が割と多くあるこのエリアに、用がある時に来ていただいたり、あるいはスーパーに行ったり、そういったことで、市の外に出るのでなく、市の中で回遊してもらえるような公共交通にしていき、市民の皆様にも、中心部というか、機能集中エリアに来ていただける環境を作っていくことが必要だという視点で書いた。端的に言えば、日常生活のネットワークをつなげるというイメージで、このタイトルにした。わかりづらいということであれば、見直す必要があると思っているので、皆様の意見をお聞きしたい。</li> <li>・前段と後段で書いてあることが少し違うのではないかという点は、前段は先ほど申し上げたとおり、市の中での移動に加え、市外の方にも市内を回遊していただくという視点も必要だということで、両方を前段と後段で記載させていただいた。そこを踏まえたとき、課題4のタイトルがもう少し適切な表現があれば、修正を検討したいがいかがか。</li> </ul>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただいまの「市内と日常をつなげる」という表現について、意見はないか。例えば、この課題4については、委員の指摘通りと思う部分もあり、市内にきた人、これは市内に住んでいる方も含めてだが、そのときに日常の買い物や通院で公共交通が充実しているように見えたらよいと思う。</li> </ul>

発 言 者	会 議 の 経 過 （ 議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 結 論 等 ）
委 員 長 鈴 木 委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多少矛盾しているかもしれないが、市外からの来訪者、これは鈴木委員の意見にもあったが、観光だけではないのだという部分を加えることを含め、それらを包含した良い表現があれば、考えてほしい。次回までに事務局で何か考えてもらうということによいか。</li> <li>(異議なし)</li> <li>・他に意見はないか。</li> <li>・今日は国交省の坂井さんがいらっしゃらないが、最近、私は、公共交通計画という言葉に若干の無理を感じている。というのも、国がそう決めているからだが、「公共交通だけに絞って考えましょう」となっている。ただ、今ここで議論しているのは人の移動、いわゆるモビリティだと思う。人の移動は確かに公共交通もあるが、自前での移動というのも当然あるはずだと思う。もっと言うと、2024年問題で、宅配便が届かなくなるといった話もある。そうすると、人の移動と物の移動を今後将来にわたって、この行田で考えていかななくてはならないなと思っている。法律で決められているので、公共交通計画ということになるのだろうが、もし許すのであれば、個人の自前での移動、これをどう支えていくのかということも考えたらどうかと思った。</li> <li>・先ほどの資料、24ページの移動手段について、平成20年と平成30年の比較があり、自転車が減っているという話であるが、自転車も自前の移動手段である。それと同時に自動車、これも実は計算したら10年間で2割ほど減っている。行田市民の移動手段の8割がマイカーだということを考えると、これが2割減ったということになる。これが2045年ぐらいになると、もっと減るので、公共交通をいくら充実させようと思っても支えきれないのではないかという懸念がある。今までの議論では、「減ってきているからその代替りのものとして公共交通を充実させよう」といったスタイルだったと思うが、減るものをなるべく食い止める、ということが必要だと思う。</li> <li>・39ページの調査結果概要には、世代別の自分専用自動車所有状況があり、20代、30代の方は自分の車を持っている方が少ないという結果である。私の若い頃は、車がなければそもそも話にならないという時代であった。だから、みんな一生懸命アルバイトをして、お金を貯めて、運転免許を取って、古い車でいいから買った。その人たちが、今は自分で運転ができて、郊外部でも生活できていると思う。一方、今の若い方々の免許取得率は低下しており、確か65%ぐらいまで下がっていると思う。</li> <li>・もっと言うと、私たちは自動車販売もやっているの肌でわかるが、40年前、軽自動車の新車は100万円で買った。今、当社で売られている軽自動車のボリュームゾーンは230万円なので、2倍を超えている。免許の取得費用も昔は11、2万円だったと思うが、今は35、6万円かかる。ガソリン代も倍になっている。そういった中、コスト面から車を手放す方が多いことも事実だと思う。「興味の対象が他に行ったから」といった車離れの話もあるが、行田市に関しては、「車に回帰していただく」ことも必要じゃないかと思っている。</li> </ul>

発 言 者	会 議 の 経 過 （ 議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 結 論 等 ）
<p>事 務 局</p> <p>議 長</p> <p>委 員 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加えて、高齢者の免許返納について、確かに高齢者の事故が多いので、秋の交通安全運動でも高齢者の事故防止が重点施策になっている。そういった方々に目を移すと、当社の店にも高齢の方が多く来るが、「そろそろ危ないから、勝手にピッと止まる静止安全装置のあるやつに替えようよ」と言っても、「いや、金ないからさ、年金だからさ」と言うので、仕方なく軽トラックに乗っている。安全装備は一切なしであり、もっと言うと、少ししか乗らないので、任意保険に入っていない方も結構いらっしゃる。これは、モビリティの安全確保という点でも将来的に大きな影を落とすと思う。</li> <li>・今、公共交通機関だけで議論されているが、例えばカーシェアリングなどで補完し、自前で動ける人は自前で動いていただくということも必要だと思う。自転車もそうだし、電動アシスト自転車もそうだし、超小型モビリティもあると思う。そういったものを加え、モビリティというものを作り上げていくことが必要だと思う。</li> <li>・さらに、公共交通機関の利用のほとんどは、医療機関や買い物が目的だと思う。確かに市内にスーパーマーケットがとても多く、私も便利だなと思っているが、8ページには「将来は人口が減っていく」と書いてある。ここには2030年までしか推計が載っていないが、それでも生産年齢人口は14%減となる。確か2045年には、34%減だったという記憶があるので、できれば2045年まで記載してほしいが、その時のことを考えると、「なんとかして自前で動ける人は動いてください」という活動を続けていかないと、公共交通機関では賄いきれない時代が間違いなく来るので、できれば自前の移動手段の確保と言うか、推進というのも考えていただけるとよいと思う。</li> <li>・今のご意見のうち、シェアリングという考え方については、現在お示ししている資料からは見えてこないと思うが、今後の持続可能な移動手段を考える上で、大事なキーワードになってくると考えており、今後検討いただく第4章以降の具体的な取組などで、記載していきたいと考えている。どのような記載になるか、これから具体的に検討するが、指摘の視点を踏まえ、第4章以降で記載をしていきたい。</li> <li>・本日は、運賃の改定、土日の減便、シェアリング、デマンドタクシーの利用時間などの意見をいただいた。こういった様々な意見について、事務局で整理し、今後の第4章以降につながる部分もあるので、次回の会議で修正案を提示するというにしたいがよいか。</li> </ul> <p>(異論なし)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、事務局にはそのような形で対応していただきたい。</li> <li>・また、本日は限られた時間の中だったので、次回の会議までの間に第1章から第3章までについて何か気づいた点などあれば、事務局まで連絡をいただきたい。</li> </ul>

発 言 者	会 議 の 経 過 （ 議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 結 論 等 ）
司 務 局 事 務 局	<p><b>4. その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より、今後のスケジュールや案内をさせていただく。 (資料3に基づき説明)</li> <li>・何か今後の進め方について意見があればお願いする。 (意見なし)</li> <li>・今後、非常にタイトなスケジュールで皆様にお集まりいただくこととなり、迷惑をおかけするが、ご協力をお願いしたい。</li> </ul>
司 会	<p><b>5. 閉会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・閉会を宣言</li> </ul>